

学習指導センターだより

第4号〔令和7年7月17日（木）〕

☎949-6680 南魚沼市六日町 865 南魚沼市民会館2F 南魚沼市学習指導センター

☎:025(773)6702 Fax:025(773)6703 Eメール:mgakusen@minamiuonuma.ed.jp

ホームページ URL: <https://www.minamiuonuma.ed.jp/1570003> 南魚沼市学習指導センターで検索



教師が事前に教科書を「正しく読む」とは

【事例1】ある小学校の要請訪問で、2年「長さの計算」の指導案を検討しました。題材は右の教科書のものです。教科書では、絵図が示され長さを比べるよう指示されています（学校図書 p.74）。授業者は、これとともに、次の問題状況を提示することを提案しました。「ありは雨あがりにえさをさがしに行きました。雨がふりそうなので、いそいでいます。クッキーをみつけたありは、㊦㊩のどちらのみちをとるのがよいのでしょうか。」（下線筆者）私がこの提案に共感したことは、「どちらのみちをとるのがよいのか」という問いを、「いそいでいる」という条件を踏まえ、「どちらのみちのほうが長さはみじかいのか」と数学的に理解する機会になることです。算数・数学の学習指導要領からすれば「事象を数学的に捉えること」であり、「読む力」からすれば「同義文の判定」につながるからだからです。もしも教師が「どちらが近道か」と直接問えば、そのような契機は生まれまいでしょう。この事例は、「子供が問題を正しく読む」活動を教師が構想する上で参考となります。なお、これと同じような例として、「どちらを買うのが安くて得か」を「どちらが1つあたりの値段は安いのか」と読み換えることが挙げられます。



【事例2】授業者から問合せがありました。「教科書のまとめは『同じ単位どうしを計算する』とありますが、子供たちからは『単位をそろえて計算する』という考えが出ると予想されます。これらを同じとみなしてよいのでしょうか。」このように、教師が教科書を読み、書かれている言葉に引っ掛かりを感じて疑問をもつことは、「正しく読むこと」の起点となり重要だと考えます。その引っ掛かりは、子供にも正しく理解してほしいからだからです。この事例は、教師が「教科書の学習用語や定義などを正しく読む」ことが、教材研究の基礎として重要であることを示すものです。なお、「同じ単位どうしを計算する」とは、前提となる計算のきまり（原理）です。「単位をそろえて計算する」とは、そのきまりに基づいて行うこと（手続き）です。「そろえる」の意味は、筆算をするときに「単位ごとに同じところに数字を書くこと」（位置・配列）を指す場合もあれば、4cm2mmと3cm5mmを42mmと35mmにかえるように「いずれの数量も一つの同じ単位で表すこと」（換算・統一）を指す場合もあります。（文責 井口 浩）

資料「授業準備のために教科書を読む7つの方法」を作成しました。ご活用ください。

湯沢町立学校:たよりと同送します。 南魚沼市立学校:市内共有フォルダ(Yフォルダ)にあります。

示範授業・講演会から学ぶ

6月に新潟大学附属小学校の3名の先生方からお越しいただき、3教科（国語・算数・外国語）の示範授業&講演会を実施しました。どの会も約40名もの方からご参加いただき、学びを深めました。それぞれの会の参加者の感想の一部を紹介します。

6月10日（火）算数 3年「長さ」

講演会：「子供の問いに寄り添う算数授業の在り方を考える」

授業者：新潟大学附属新潟小学校 二瓶 亮 様

会 場：湯沢町立湯沢小学校

- ・二瓶先生は、子どもの思いに寄り添うことと、子どもの「やりたい」を大切にしていた。例えば、紙テープの長さを調べる時、子どもたちが持っている定規が統一されていないのでかなり苦労していたが、二瓶先生はどうすればよいかを教えず、子どもたちにどうすればよいかを問い返していた。子どもの考えを肯定し、価値付けて、時に整理し、問い返していた。子どもが主体の授業であった。これからの授業づくりに生かしていきたい。



6月20日（金）外国語 5年「World Holidays」

講演会：「言語活動を軸とした授業づくり」

授業者：新潟大学附属新潟小学校 加藤 大祐 様

会 場：南魚沼市立浦佐小学校

- ・加藤先生の示範授業で感じたことは、とにかく「楽しい」ということだ。楽しいからこそ英語を学ぼうとする児童がたくさんいたのと思う。
- ・外国語の言語活動をどのように仕組んでいけばよいのか、具体的にとても分かりやすかった。相手意識、必然性、目的意識、状況の設定が大切だということを再認識できた。



6月24日（火）国語 4年「走れ」

講演会：「直観と論理に働きかける授業づくりで、子供たちの読む力をはぐくむ」

授業者：新潟大学附属長岡小学校 小湊 雄一 様

会 場：南魚沼市立六日町小学校

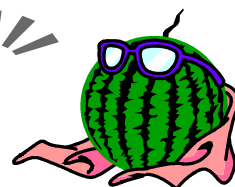
- ・今まで、漠然としていた物語の授業が自分にもできそうだと手応えを得ることができた。その理由としては、「直感→論理→自覚」という授業の流れを学べたからである。始めに、児童の直感を引き出し、その後、サイドラインを引くなど叙述を基にして論理に向かわせ、最後に児童が読みの過程を振り返って学びを自覚する。この一連の流れが「読む力」の育成につながることを学ぶことができた。



どの授業も、今求められている「主体的・対話的で深い学び」の授業実践でした。示範授業を参観いただいた先生方からは、学んだことをぜひ自校の先生方に広めていただきたいと思います。

最後に、会場校としてご尽力いただいた湯沢小学校、浦佐小学校、六日町小学校の教職員の皆様と子供たちに感謝申し上げます。ありがとうございました。（文責：荒井 一人）

8月 INFORMATION



★研修講座★ 8月実施の研修講座です。

期 日	コード	研 修 講 座	会 場
8月1日(金)	H07	《算数・数学》算数・数学授業づくり研修 (中学校数学編)	ふれ愛支援センター 多目的ホール
8月1日(金)	R22	《理科》【野外研修】地層観察会 (雨天時は室内での実習) 郡市教振小学校理科部研修を兼ねる	後山地区 辻又川沿い (集合:北辰小)
8月4日(月)	H04	《国語》国語の授業づくり研修(小学校国語編) 郡市教振小学校国語部と共催	ふれ愛支援センター 多目的ホール
8月5日(火)	H05	《国語》国語の授業づくり研修(中学校国語編) 郡市教振中学校国語部と共催	オンライン
8月5日(火)	H08	《外国語》外国語学習における言語活動を 軸とした授業づくりについて	南魚沼市図書館 多目的室
8月5日(火)	M01	《道徳》道徳科授業づくり研修 郡市教振道徳部と共催	ふれ愛支援センター 研修室
8月7日(木)	H06	《算数・数学》算数・数学授業づくり研修 (小学校算数編)	ふれ愛支援センター 多目的ホール
8月7日(木)	G05	《小中学校共通講座》陶芸体験を通して つながりを深め元気に過ごすために	ふれ愛支援センター 創作実習室・大会議室
8月8日(金)	I05	《特別支援教育》発達凸凹の見方 ～凸凹支援、メディア支援～	コミュニティホール さわらび
8月18日(月)	M03	《教育相談》教育相談で大切にすべきポイント	ふれ愛支援センター 多目的ホール
8月19日(火)	G07	《学級づくり》学級づくり研修② 2学期の学級経営のポイント	ふれ愛支援センター 多目的ホール
8月20日(水)	T01	《教育講演会》南魚沼市内教員全体研修 子どもたちのシン読解力を育む授業とは	南魚沼市民会館 大ホール

★学校訪問★



8月の計画訪問・要請訪問の予定です。

期 日	学校名(教科等)
8月25日(月)	中之島小(外)